

■ともに高め・輝かそう自分のよさ、老中のよさ、地域のよさ

(老上中学校)

1 【活動の趣旨】

「スクールE S Dくさつプロジェクト」と「地域協働合校」を連動させながら、様々なことを知る、考える、挑戦する機会として探究的な体験的活動や意見交流を通し、地域とともに将来を考えるきっかけにすることをめざす。



【書道教室】

2 【特徴的な活動内容】

○「書道教室」(7月～9月)

地元の書家をお招きし、書道の楽しさと上達を目的として全校生徒が競書会に向けて熱心に取り組んだ。

○「校外作品展示会」(1学期間、2月)

地元にある地域銀行の一角に、美術作品を展示した。多くの方々に「老中生」の学びを発信する機会となった。



【校外作品展示会】

○「老上三方よしプロジェクト(琵琶湖環境学習)」(1年生)

琵琶湖の環境に注目し、その保全に取り組まれている企業や団体の方からのお話を聞いたり、実際にヨシ刈りを体験したりすることから、環境学習に取り組んだ。



【三方よし】

○「生き方探究プログラム 職場体験・金融教育(キャリア教育)」(2年生)

「職場体験学習」で働くことについて学んだ後、地域の銀行から講師をお招きし、これからの人生に必要な「お金」との上手な付き合い方や将来について考えた。

○「ORP(老上再発見学習)“O I K A M I R e d i s c o v e r y P r o j e c t”」(3年生)

校区内のフィールドワークや地域の方の講演会を実施し、地域のよさを発信していく地域学習に取り組んだ。



【金融教育】

3 【実施に当たっての工夫】

- ・活動の内容を地域の方や保護者に伝えていくため、随時学校HPで発信した。

4 【事業の成果】

- ・「総合的な学習の時間」を中心としながら、各教科でも横断的にE S Dの視点を取り入れた学習を進めることができた、成果物の校内掲示や紹介をすることができた。
- ・地域の方々や企業、学生ボランティア等と共に活動したことにより、「持続可能な社会」について自分事として考えていくことができた。



【ORP】

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

- ・体験的活動の成果を「まとめ」、「発信」することはできたが、そこからさらに意見を反映し「将来」について考えていくサイクルを確立する必要がある。